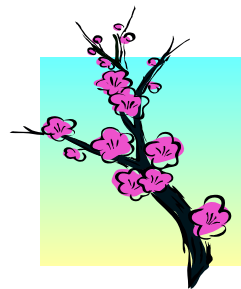


BPT (バイオマスプロジェクトチーム)だより No.16

http://www.pref.chiba.jp/syozoku/e_ichihai/bio/biotop.htm



平成 18 年 2 月 20 日 (月)
バイオマスプロジェクトチーム
『環境生活部資源循環推進課』

1. 事業の進捗状況 等

○ 農林水産バイオリサイクル研究

山田町で実施中の研究を含む標記研究について、施設・システム化チームの平成 17 年度推進会議が (独) 農業工学研究所で行われました。(2 月 8 日)

農業工学研究所より、プラント群システム設計、消化液の肥料利用等の今年度の研究成果と来年度計画の発表が行われました。

2. 国・大学・市町村等との連携

○ 白井市バイオマスタウン構想の公表

～都市と農村の融合した資源循環型社会の推進～



なし坊ファミリー
白井市マスコットキャラクター

白井市バイオマスタウン構想が公表されました。
(1 月 31 日公表)

「生ごみの堆肥化」、「市の特産である『梨』の剪定枝の炭化」、「工業団地等で発生する可燃ごみのガス化発電」などの バイオマスの有効活用を推進し、都市部と農村部が共存する首都圏近郊地域の特色を生かした資源循環型社会を目指し、快適な住環境を整備する構想です。

タウン構想は県 HP からも参照できます。

http://www.pref.chiba.jp/syozoku/e_ichihai/bio/townkoso.html

○「フラワーバイオマスタウンおおたき」を目指して
第 4 回大多喜町新エネルギービジョン策定委員会
が開催され、バイオマスプロジェクトチームよりオブ
ザーバーとして参加しました。(1 月 27 日)

第 1 回～3 回まで検討してきた「大多喜町地域新エ
ネルギービジョン」の説明、検討・意見交換が行われ、
2 月に公表予定となりました。

大多喜町では「フラワーバイオマスタウンおおた
き」を目指して推進して行くことになり、3 月 18 日・
19 日に「なのはなエコフェア in 大多喜」が開催される予定になっています。



いすみ鉄道と菜の花

○バイオディーゼル燃料推進の連携強化に向けて

廃食油などの植物油から作るバイオディーゼル燃料の利活用に関する先進事例の取組状況や課題等を明らかにするとともに、地域での関係者と自治体の連携、広域的連携など利活用推進に向けた今後の戦略を探るため、第2回バイオディーゼル燃料利活用推進自治体フォーラムが京都市で開催されました。(2月17日)

このフォーラムに千葉県バイオマスプロジェクトチームからパネラーとして参加、地域におけるバイオディーゼル燃料普及の問題点、課題、今後の戦略のための意見交換を行いました。



精製されたバイオディーゼル燃料
提供：千葉三港運輸株式会社



○ごみ収集車のエネルギーを生ごみから

第3回目となる市町村職員とのバイオマス勉強会を横須賀市で実施しました。(2月3日)

ごみを可能な限り資源化し、焼却量及び埋め立て処分量の減量化を図る取り組みの一環として、横須賀市では民間企業と共同で「生ごみ」のメタン発酵とバイオガスの自動車燃料化の実証試験を実施しています。(NEDO 事業)

3. 普及啓発活動・その他

○消費者に向けたバイオマス普及活動

千葉県畜産協会主催の「平成17年度畜産物安全・安定供給相互理解体制推進事業に係るモデル地域現地検討会並びに交流会」のパネラーとして参加しました。

この交流会は消費者の方々が農産物の生産現場を視察し生産者と交流することで食の安全問題を検討するもので、山田町をモデル地域として実施しました。

プロジェクトチームからバイオマスの有効利用の普及啓発及び農林水産バイオリサイクル研究プラントの現地説明を行いました。



「佐倉市消費者の会」を中心とした
参加者への説明